

小松食ブランド事業への企画参加による中心市街地の活性化

学生団体名 うらら こま探's (小松短期大学 地域創造学科)

参加学生 中谷裕治・街道唯衣・谷口 舞・中溝彩乃・薮 由希奈・江口綾乃・竹田拓磨・原 爽華・堀居真菜・南野百合花・村上文香

1. 地域活動の概要

「うらら こま探's」の活動目的は、「小松市民とふれ合いながら、歴史、風土、習慣などを学び、若者目線で小松の未来を作る。その具体的な活動として、小松の食材を使った商品開発・販売を通して小松の良さを地域に知ってもらう。」である。本活動は2010年から続けており、商品開発・販売だけでなく、救急救命講習への参加、ランチマップ制作、ボトルキャップアート制作などを行ってきた。

今年度も、これらの活動を一部修正しながら継続している。

2. 地域活動の具体的な内容

① 小松市のご当地グルメ「小松塩焼きそば」を活用した商品開発、及び同商品のイベント等での販売・PRで小松の知名度を上げる

今年度参加したイベントは、「お旅まつり」、「夏まつり歌舞伎市」、「どんどんまつり」である。

・「お旅まつり」

日 時 5月10日(日)、11日(祝・月) 10～16時

場 所 小松駅前商店街れんが通り

販売品目 カブキバーガー、ボーの塩焼きそば

参加人数 本学11人、来場者数14万人

状 況 例年、先輩から後輩への引き継ぎを、このイベントで行っている。2年生は就職活動があるため、積極的な参加が難しくなるためである。

「お旅まつり」は小松でもっとも大きな祭りで、250年続いている子供歌舞伎でも有名である。

開発した商品の作り方、店舗のセッティング、販売の仕方などを、実践を通して申し送った。

・「夏まつり歌舞伎市」

日 時 8月22日(土) 18～20時

場 所 小松駅前三日市商店街三の市朱門通り

販売品目 ボーの塩焼きそば

参加人数 本学13人、来場者数5万人

状 況 販売時間が短かったので、カブキバーガーは販売しなかった。

「JAPAN TENT」のイベントのひとつである「スモールワールド in KOMATSU 2015」との同時開催だった。それもあって、外国人の方も買いに訪れてくれたことは、周辺地域という枠を超えたPRができたのではないと思う。



・「どんどんまつり」

日 時 10月11日(日) 10～16時

場 所 小松駅前商店街れんが通り

参加人数 本学10人、来場者数6万人

販売品目 ボーの塩焼きそば

状 況 あいにくの雨交じりの1日だったが、雨が降っているとき以外は混雑した。ボーの塩焼きそばは、こういったイベントでしか販売しないこともあり、知名度はほとんどない状態である。このため、午前中は店舗前を遠巻きに通り過ぎる人が目立った。しかし、私たちの売り声でそれは時間と共に薄れていったようで、1時半頃には約300本を完売した。

ボーの塩焼きそばは、ベーコン、紅しょうが、チーズのいずれかのトッピングから選べる。チーズを使ったのは、新感覚でよかったと思う。下表は時間ごとの売れ行きを表したものである。

時間帯	ベーコン	紅しょうが	チーズ	計
10-11	23	11	38	72
11-12	67	41	79	187
12-13	18	15	1	34
計	108	67	118	293



② 小松駅周辺の Web ランチマップを制作し、近年増加している出張者へのサービス向上を図る

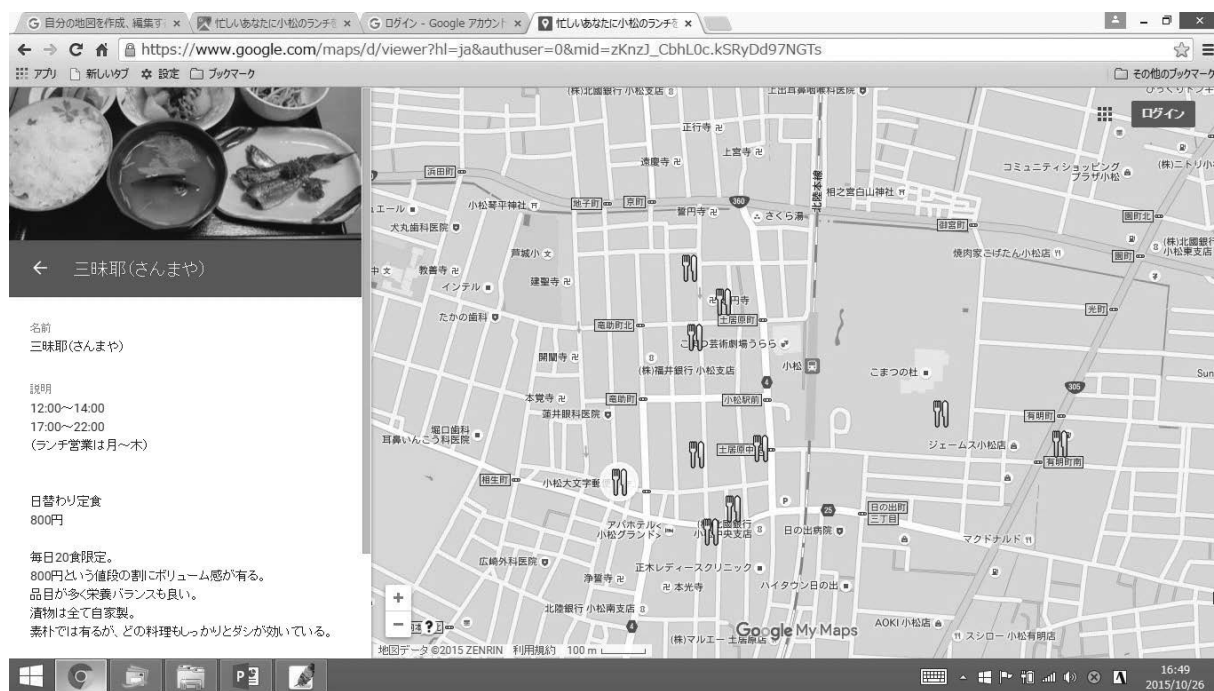
2011年に、小松駅前にコマツウェイ総合研修センターができ、研修を受けるビジネスマンが多く訪れるようになった。このため、貴重な昼休みを有効に過ごしてもらおうと思ったのがきっかけである。これまでもランチマップを作ってきたが、紙メディアであるため、新規にオープンした店舗情報を載せにくいという問題があった。また、地図を開いて場所を確認するといったことは煩わしく、スマートではないので、多くの人が持っているスマートフォンで検索できるランチマップの制作をすることにした。

ソフトは、google マップを使った。google マップは、ブログ形式で自分が訪れた場所を公開できる。あまり多くの情報を載せられないが、簡単にアップロードできるのが特徴である。

この写真は、「和かふえぎやるり安穩 (あんのん)」を取材したときの様子である。



下図は、Web ランチマップの例である。



③ その他の活動

・救急救命講習会及び競技会への参加

＜救急救命講習会実施＞

イベント会場で、救急救命が必要になることもあるので、部員は全員、救急救命講習を受講することにした。高校でもこういった講習を受講している人もいたので、それより上のランクの普通救命講習Ⅱを受講した。講習会終了時には確認筆記試験があり、全員合格した。

＜応急手当技能競技会 ボランティア参加＞

9月6日（日）、小松市消防本部主催の第2回応急手当技能競技会が開催され、計測員補助や怪我人役で支援した。この競技会は、「しみん救護員」及び市民に対する応急手当の知識・技術向上を目的としており、18 チーム 54 名が参加し、救急車が到着するまでの間に、市民が行える応急手当を楽しく学べるように「AEDを用いた心肺蘇生法」、「三角巾法」、「予防救急クイズ」、「応急担架作成」を競技種目としている。



・「里まなび山あそび」ボランティア参加

10月12日（祝・月）、里山自然学校の取組みを市内外に広くPRするとともに環境王国こまつの里山の魅力を体感してもらうために実施している。

私たちは、参加者の誘導、各イベントの補助などを行った。サバイバル体験では、イワナを捕って、自作の串に刺して焼くまでをサポートしたり、地物野菜の販売やそれらの食材を使った料理の配膳のサポートをしたりした。



・米・食味分析鑑定コンクール ボランティア参加

11月22日（日）、23日（祝・月）の2日間に渡って行われた、米・食味鑑定士協会が2000年（平成12年）より行っているお米のコンクールにボランティアとして参加した。仕事内容は、米研ぎ、炊飯、検体搬送、受付・誘導などである。



3. 地域活動の成果

小松短大は地元に住む学生が多いが、普段は、生活や文化や習慣を意識することがないので、イベントなどに参加して、人とふれあいながらこれらを実感することができた。また、市民との交流だけでなく、出店事業者などから、販売に関するアドバイスがもらえたのも収穫であった。特に、物を売る難しさ、PRする難しさを実感し、準備の大切さ、連携プレーの重要さなども体験を通して理解できた。

これまで行ってきた地域活性活動がだいぶ理解されてきたようで、応急手当技能競技会や米・食味分析鑑定コンクールなどの補助員として声をかけてもらった。活動については感謝の言葉を頂けたし、自分たちもいい経験になったと思っている。

4. 来年度の地域活動計画

Web版のランチマップは、リアルタイムに更新することができるので、季節にちなんだ料理の掲載も可能である。そういった要望に応えられる体制作りが必要だろう。店主自らがブログ感覚で更新してもらえれば、思い入れも深くなると思うので、今後講習会や制作の手伝いなどができるようにしたい。

5. 学生の感想

- ・日頃から勉強しているホスピタリティの実践ができたのがよかった。
- ・活動を通して、小松の人の温かさを感じた。自分の住んでいる地域でもやりたい。
- ・一つの目標に向かって協力して行動する大切さ、難しさ、達成感、充実感を味わうことができた。

6. 地域活動に対する地域からの評価

地域の人は若者がイベントなどに参加し、交流を深めることを歓迎してくれており、特に年配の方は、油っぽい「ボーの塩焼そば」であっても孫にあげるからと言って、積極的に買ってくれるなどの応援をしてくれた。

ランチマップの制作では、店主の考え方に違いはあるものの、学生が地域に出て積極的に活動することに期待してくれている。